

大阪府教育委員会教育長 様

府立枚方なぎさ高等学校  
校 長 稲 葉 剛

## 学校経営推進費 事業計画書

標記について、下記のとおり提出します。

## 1. 事業計画の概要

取り組む課題	C 生徒の学力の充実
評価指標	・学校教育自己診断における生徒の授業満足度の向上 ・授業アンケートにおける「授業に対する生徒の意識」の向上 ・授業アンケートの教員平均値の上昇 ・外部機関の客観的学力診断テストにおける学力の向上
計画名	「なぎさスマイルプロジェクト～授業に笑顔を～」

## 2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	1 思考力・判断力・表現力など確かな学力を育成するため、教員の授業力向上を図る。 (1) 授業力向上委員会を設置して、学校全体でめざす授業を明確化し、「主体的で対話的な深い学び」を実践するため、アクティブラーニングやユニバーサルデザインの授業に関する情報を共有し活用する。 (2) 授業アンケートを有効に活用するとともに、研究授業や教員同士の授業観察等の活性化を図る。 ※生徒向け学校教育自己診断「楽しくて、わかりやすい授業が多い」(平成29年度64.6%)を毎年3%引き上げて、2020年度には75%以上にする。		
事業目標	※現状と課題：本校は、授業で十分に生徒の力を伸ばし切れていない。そこで、生徒の確かな学力を育成するため、全教室に電子黒板機能付き超短焦点プロジェクタを設置し、以下の取組みを行う。 ①授業力向上委員会を設置し、「笑顔が広がる授業」や「わかりやすく楽しい授業」をめざして、ICT機器を活用した授業の全体計画を策定する。 ②パッケージ研修を通じて、アクティブ・ラーニングや授業のユニバーサルデザイン化に関する理解を深めるとともに、「生徒に付けたい力」「笑顔が広がる授業」「わかりやすく楽しい授業」の共通認識を図る。 ③モデル授業者がICT機器を活用した研究授業を実践し、教職員全体で研究協議を行う。 ④各教科1名がICT機器を活用した研究授業を実践して全体化を図る。 ※評価指標：①生徒向け学校教育自己診断「楽しくて、わかりやすい授業が多い」(平成29年度64.6%)を毎年3%引き上げる。②授業アンケート『興味・関心を持つことができた』『知識・技能が身に付いた』を毎年0.03ポイント引き上げる。③授業アンケートの教員平均値を毎年0.02ポイント引き上げる。④外部機関の客観的学力診断テストにおける国数英の偏差値を毎年1ポイント引き上げる。		
取組みの概要	整備する 設備・物品 (概要)	普通教室(18室)への電子黒板機能付き超短焦点プロジェクタ、壁掛け金具、インターフェースボックス、配線工事費	
	取組 内容	前年度	平成27年度、平成28年度：パッケージ研修を実施。 平成29年度：大阪教育大学木原教授を招いて、研究授業を実施。近隣の枚方市立渚西中学校との授業交流を実施。アクティブラーニングの研究のため、内田洋行による教職員研修を実施。公開授業月間を設けての教員同士の授業観察は70回と前年度に比べて約30%増加。授業振り返りシート提出率100%。
		初年度	・授業力向上委員会による「H30 ICT機器を活用した教員の授業力向上計画」の策定(5月) ・アクティブラーニングや授業のユニバーサルデザイン化に関する教職員研修の実施(6月) ・パッケージ研修による「生徒に付けたい力」「笑顔の広がる授業」「わかりやすく楽しい授業」の共有化(7～8月) ・モデル授業者による研究授業及び研究協議、公開授業月間を活用した教員同士の授業観察(10～12月) ・学校教育自己診断及び授業アンケートによる結果検証(1～2月)
		2年目	・1年目の結果を受けての「H31 ICT機器を活用した教員の授業力向上計画Ⅱ」の作成(4月) ・アクティブラーニングや授業のユニバーサルデザイン化に関する教職員研修Ⅱの実施(7～9月) ・各教科代表の授業者による研究授業の実施、公開授業月間を活用した教員同士の授業観察(10～12月) ・学校教育自己診断及び授業アンケートの結果検証(1～2月)
		3年目	・2年目の結果を受けての「2020 ICT機器を活用した教員の授業力向上プロジェクトⅢ」の作成(4月) ・アクティブラーニングや授業のユニバーサルデザイン化に関する教職員研修Ⅲの実施(7～9月) ・各教科代表の授業者による研究授業の実施、公開授業月間を活用した教員同士の授業観察(10～12月) ・3年間の検証と「なぎさスマイルプロジェクト～授業に笑顔を～」をまとめた冊子の作成(1～3月)
取組みの 主担・実施者	授業力向上委員会 ・首席及びカリマネ研修受講者が組織を動かす ・構成メンバー：教頭、首席、カリマネリーダー、各教科代表者		
成 果 の 価 値 検 証 方 法	初年度	・生徒向け学校教育自己診断「楽しくて、わかりやすい授業が多い」(平成29年度64.6%)を3%引き上げ、68%にする。 ・授業アンケート『興味・関心を持つことができた』『知識・技能が身に付いた』(平成29年度3.0)を0.03ポイント引き上げ、3.03にする。 ・授業アンケートの教員平均値(平成29年度3.08)を0.02ポイント引き上げ、3.1にする。 ・外部機関の客観的学力診断テストにおける国数英の偏差値を1ポイント引き上げる。	
	2年目	・生徒向け学校教育自己診断「楽しくて、わかりやすい授業が多い」を3%引き上げ、71%にする。 ・授業アンケート『興味・関心を持つことができた』『知識・技能が身に付いた』を0.03ポイント引き上げ、3.06にする。 ・授業アンケートの教員平均値を0.02ポイント引き上げ、3.12にする。 ・外部機関の客観的学力診断テストにおける国数英の偏差値を1ポイント引き上げる。	
	3年目	・生徒向け学校教育自己診断「楽しくて、わかりやすい授業が多い」を3%引き上げ、75%にする。 ・授業アンケート『興味・関心を持つことができた』『知識・技能が身に付いた』を0.04ポイント引き上げ、3.1にする。 ・授業アンケートの教員平均値を0.03ポイント引き上げ、3.15にする。 ・外部機関の客観的学力診断テストにおける国数英の偏差値を1ポイント引き上げる。	

## 3. 事業費

事業費総額	3,402,000	円
-------	-----------	---

## 積算内訳

* 決算科目(節)を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。				見積に基づく清算			実勢価格に基づく積算		
科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額	
1 報償費	1								
	2								
	3								
	小計								
2 旅費	1								
	2								
	3								
	小計								
3 消耗需用費	1								
	2								
	3								
	小計								
4 維持需用費	1								
	2								
	3								
	小計								
5 役務費	1								
	2								
	3								
	小計								
6 委託料	1								
	2								
	3								
	小計								
7 使用料 及び賃借料	1								
	2								
	3								
	小計								
8 備品購入費	1								
	2								
	3								
	小計								
9 工事請負費	1	電子黒板機能付き超短焦点プロジェクター				¥110,000	18	¥1,980,000	
	2	インターフェイスボックス、固定金具、配線設置等				¥65,000	18	¥1,170,000	
	3	消費税				¥252,000	1	¥252,000	
	小計								¥3,402,000
10 負担金・補助 及び交付金	1								
	2								
	3								
	小計								
合計								¥3,402,000	